

SQL の基本

1 導入

この講義で最重要なのは、SQL は表に並んだデータを「どう見たいか」「どう更新したいか」を宣言的に書く言語だということです。

データベースを使うとき、内部でどう探索するかを1歩1歩書くのではなく、「この条件の行が欲しい」と指定します。その基本の言葉が SQL です。

2 用語と定義

SQL とは、関係データベースを操作するための言語です。

SELECT とは、表から条件に合うデータを取り出す文です。

3 方針

まず SELECT 文で、どの列をどの表から取り出すかを見ます。そのあと WHERE で条件をつける流れを整理します。

→ [講義](#) データベースの基本 [lecture](#) [information](#) [database](#)
<https://study.bem130.com/lecture/information/database/データベースの基本-講義/>

4 直感的な説明

SQL は「この表の中から、この条件に合うものだけを見せてほしい」と頼む言葉です。手順を細かく命令するより、「何が欲しいか」を書くのが特徴です。

5 厳密な説明

5.1 1. 基本形

SELECT 列名 FROM 表名

で表から列を取り出します。

5.2 2. 条件

SELECT 列名 FROM 表名 WHERE 条件

とすると、条件に合う行だけを取り出せます。

5.3 3. 更新こうしん

SQL では検索けんさくだけでなく、INSERT、UPDATE、DELETE などで追加ついかや変更へんこうもできます。

6 見分け方みわ かた

- 表ひょうから必要なデータひつようを取り出すなら SELECT を考えかんがます。
- 条件じょうけんがあるなら WHERE を使つかいます。
- まずは「どの表ひょうから」「どの列れつを」「どんな条件じょうけんで」の3つに分けると整理せいりしやすいです。

7 最終形さいしゅうけい

SELECT 列名 FROM 表名 WHERE 条件

8 一言でいうとひとこと

- SQL は、表ひょうの中なかから必要なデータひつようを宣言せんげんてき的に取り出すための言語げんごです。